

プランクトン調査結果のお知らせ

平成26年7月7日、午前10時から野見湾のプランクトン調査を行いましたので結果をお知らせします。

検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で576cells/ml確認され、被害が想定される濃度を越えていました。また、シャットネラ属が最高で3cells/ml確認されました。

すでに被害が出ているようですので、十分に慎重な養殖管理をお願いします。

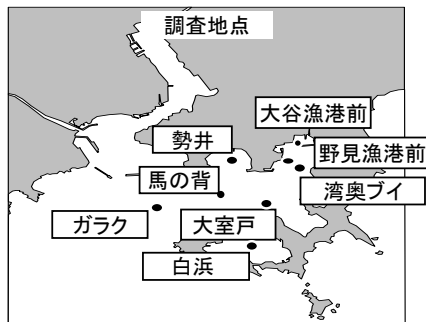
※カレニア・ミキモイは上下に移動(日周鉛直移動)するため、午前中に潮色が良くても午後に着色する可能性があります。また、潮流や風でも移動し、集積する可能性があります。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属
湾奥ブイ	0m	0	1
	2m	4	0
	5m	156	3
大室戸	0m	1	0
	2m	19	0
	5m	239	0
白浜	0m	0	1
	2m	13	0
	5m	30	0
	8m	115	0
馬の背	0m	4	0
	2m	153	0
	5m	576	0

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属
通路 (ガラケ-馬の背)	0m	2	0
	2m	100	0
	5m	206	0
勢井	0m	40	0
	2m	60	0
	5m	314	0
野見漁港前	0m	22	0
	2m	206	0
	5m	251	0
大谷漁港	0m	21	0
	2m	40	0
	5m	118	0



**漁業被害が想定される細胞密度**

- ・カレニア・ミキモイ(へい死): 数百~数千cells/ml
- ・シャットネラ属(へい死): 10~100cells/ml

「プランクトン調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>